

新飯能

発行 党 日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
972-6401子
山田としし
973-4710み
新井たかく
978-0175む
滝沢おさむ
972-3875

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所416)
Mail jcp-sigi@
pluto.plala.or.jp

応益負担撤廃へ 運動を強めよう

自立支援法で日本共産党がシンポ

日本共産党埼玉県委員会は三日、さいたま市の埼玉教育会館で、障害者自立支援法を考えるシンポジウムを開き、会場いっぱい約百六十人が参加しました。



四人のパネリストが現場の実態や、今後の改善場について語りました。あやべ澄子党員くらし・福祉対策責任者(参院埼玉選挙区候補)が主催者あいさつをのべたあと、山岸昭子県議団長をコーディネーターに、四氏が発言しました。

以上負担が増えるという紹介。「施設で働いて得た給料(工賃)でCDや缶コーヒーを買うときの笑顔を奪ってはならない。将来に不安を与えている」と訴えました。

さいたま市手をつなぐ育成会の阿久津奉子副会長は、自閉症の息子が入所する施設の様子を語り、これまでの月四万三千五百円の利用料が母子の世帯分離による減額を含めても四万九千六百六十円に上がり、二年後にはさらに一万円

負担させようという考え方がおかしい」と指摘。障害者福祉サービスで市町村格差が大きくなる問題にも触れ、自治体の責務と住民運動の重要性を強調しました。

介護保険による要介護認定(要支援除く)を受けている方は(十二月三十一日現在)市発行の認定書により障害者または特別障害者控除が受けられます。

要介護の人は控除の申請手続きを
要介護四、五と認定されている人は、特別障害者控除三〇万円。要介護一、二、三の人は、障害者控除二六万円が控除されます。また、障害者控除をした人は、所得が一二五万円(年金収入二四五万円)以下の方は住民税非課税が適用されます。

日本共産党の紙智子参院議員は、障害者団体の運動と地方自治体の独自減免の動きが、本格施行後二カ月で国の補正予算と二〇〇七年度予算に負担軽減策が盛り込まれた背景にあるとのべ、「応益負担という自立支援法の根本は変わっていないし、国も変えるつもりはない。応益負担撤廃へ、ともに運動を強めたい」と呼びかけました。

会場からの発言では、さいたま市の独自減免措置や、サービス利用に必要な障害区分認定の問題などが出されました。

の人は、約九万円の負担ですみます。いまのしくみでは、いったん窓口で三十万円を支払った後、国民健康保険や政府管掌健康保険などに加入している保険者に払い戻しを申請し、差額の約二十一万円を受け取ります。これが四月以降は、最初から窓口で約九万円を支払えばいいというしくみに変わります。

4月から 高額医療費 窓口払いなしに

医療費の患者負担を一定額以上支払った場合、あとから払い戻しを受ける高額療養費制度が、四月から改善されます。七十歳未満の入院患者について、限度額を超えた分は医療機関での窓口払いが免除されます。

多額の現金を用意した



の人は、約九万円の負担ですみます。いまのしくみでは、いったん窓口で三十万円を支払った後、国民健康保険や政府管掌健康保険などに加入している保険者に払い戻しを申請し、差額の約二十一万円を受け取ります。これが四月以降は、最初から窓口で約九万円を支払えばいいというしくみに変わります。

波 紋

川岸にタンポポが一つだけ咲いていて、そこだけさびた感じがする。さしづりに歩いてみると、川べりの草のみどりもずいぶん目立つようになってきました。それにしても暖かい冬です。せつかくスタットレスタイヤをつけたのに、雪は降りそうにありません。異常な季節のつけがどこかにまわってこなければよいのですが。異常を異常と思わなくなることも心配です。▼女性を「産む機械」と言った柳沢厚生労働相の頭の中は産めよ増やせよの時代のままなのでしょうか。今度「結婚し子どもが二人以上が『健全』」と言い放ちました。批判を受けても責任をとろうとしない厚労相や安倍首相の本音は、本音のことを言っているのが悪いというところにあるのではないのでしょうか。▼安倍内閣が考えている「美しい国」の実態がすけて見えてくるようになります。日本は戦争する国にしても子どもがいなかったら兵士をつくることのできないと本気になって考えているのではないのでしょうか。こんな世の中になされたら大変です。世論の大きな怒りもここにありそうです。

今が定番です！

活動8年、蔵書五万冊超す

日高飯能民主文庫の会

私たち「日高・飯能民主文庫の会」は、西武線高麗駅の近くにささやか

な文庫館を置いて、本の無料貸し出しや講演会・ツアーなどを催している

平和や人権そして自然環境などを大切にしようという声があがり、また交流の場にしよとうというこ

息苦しい面が多いのですが、お互いの思いが自由に語り合える場でありたいと願っています。会として

支えられてきたことであり、これからも色々な要望を活かして充実させていきたいと考えております。

「まだまだ整備が不十分ですが、子どもたちの放課後を安心して楽しい第二の家庭となるようがんばりたい」と挨拶しました。

利用料助成制度など実現させてきた力は大きい。生活苦で生活保護世帯が百万世帯をこえている。政治を変えるまに出版の時」と挨拶しました。



第6回バスツアー

以来、書籍などは百名を超える方からの提供で五万冊余、講演会は二月十二日の分を含めて二十七回・ツアーは七回を数えるまでになりました。これらは二百名余の会員に

「飯能市社会保障をよくする会」の総会と埼玉連合議長、原富悟さんの「地域からの社会保障運動を考える」と題した講演が行われました。〇六年度の活動のまとめと当面の運動方針が提案され拍手

で確認されました。来賓として挨拶した杉田実(飯能・日高地域労働組合連合会議長)さんは、「官から民へ、社会保障費の削減など、どうも財政問題からきているようだ。本当に財政が厳しいのかそうでないのか、その原因はどこにあるのか、飯能市の財政がどうなっているのか学習していきたい」と述べました。

「まだまだ整備が不十分ですが、子どもたちの放課後を安心して楽しい第二の家庭となるようがんばりたい」と挨拶しました。

利用料助成制度など実現させてきた力は大きい。生活苦で生活保護世帯が百万世帯をこえている。政治を変えるまに出版の時」と挨拶しました。

- これまでの講演会・バスツアー (2002年～)
- 第12回 浜村正夫さん「21世紀にどういう日本を目指すか」
 - 第3回 バスツアー 「多喜二逗留の七沢温泉へ」
 - 第13回 市川栄一さん 「奥武蔵民話の新発見」
 - 第14回 (総会企画) 小林宏彰さん「新たな旅立ち」
 - 第15回 秋山賢三さん 「私たちの人権とえん罪」
 - 第4回 バスツアー 「埼玉 歴史・文学の旅」
 - 第16回 砂村惇さん「映画『草の乱』と私の映画人生」
 - 第17回 川村俊夫さん「日本国憲法の心とは何か」
 - 第5回 バスツアー 「秩父事件を追って 信濃・東馬流へ」
 - 第18回 安田純平さん「イラク拘束の背景と実態」
 - 第19回 (総会企画) 平松辰夫さん 「解雇されて6ヶ月」
 - 小岩井増夫さん「高校の統廃合と開かれた学校づくり」
 - 第20回 リーディングとトークのつどい 「茶色の朝」
 - 第21回 鍛冶伸明さん「日本国憲法は大事に守る価値がある」
 - 第22回 田部知江子さん「軍隊のない国コスタリカと憲法9条」
 - 第6回 バスツアー 「平和と秋の味覚を求めて茨城へ」
 - 百里基地、抱樸社などへ
 - 第23回 (総会企画) パネルディスカッション 「憲法——私の思い」
 - 第24回 鑑賞とスピーチ 「住井すゑ 百歳の人間宣言」
 - 第25回 嶋崎澄子さん「小林多喜二とその時代の作家たち」
 - 第7回 ツアー「靖国・遊就館」見学
 - 第26回 (総会企画) 渡辺角治さん 「シルクロードを行く」



余裕教室活用で 精明児童クラブが開所

精明小学校の余裕教室を活用した精明児童クラブの開所式が四日に行われました。飯能市長は、「いろいろと手違いはありましたが、学校長や教育委員会のご理解の下、開所することができました。今後各小学校区に設置したい」と挨拶しました。父



「飯能市社会保障をよくする会」の総会と埼玉連合議長、原富悟さんの「地域からの社会保障運動を考える」と題した講演が行われました。〇六年度の活動のまとめと当面の運動方針が提案され拍手

利用料助成制度など実現させてきた力は大きい。生活苦で生活保護世帯が百万世帯をこえている。政治を変えるまに出版の時」と挨拶しました。

地域から社会保障運動を 社会保障をよくする会が学習会

七日、富士見公民館で「飯能市社会保障をよくする会」の総会と埼玉連合議長、原富悟さんの「地域からの社会保障運動を考える」と題した講演が行われました。〇六年度の活動のまとめと当面の運動方針が提案され拍手

「飯能市社会保障をよくする会」の総会と埼玉連合議長、原富悟さんの「地域からの社会保障運動を考える」と題した講演が行われました。〇六年度の活動のまとめと当面の運動方針が提案され拍手

利用料助成制度など実現させてきた力は大きい。生活苦で生活保護世帯が百万世帯をこえている。政治を変えるまに出版の時」と挨拶しました。